

CS こひつじ科礼拝式次第

2020年7月26日 午前9時30分

2020年度年間テーマ：「神は今も語っておられる。御言葉の恵みに生きよう。」

テーマ曲：ワワワいっしょに（92番）

暗唱聖句：「すべてのものは、神から出て、神によって保たれ、神に向かっているのです。栄光が神に永遠にありますように、アーメン」
ローマの信徒への手紙 11章36節

31、わたしたちは主イエスのこども（こどもさんびかをお用ください）

おいのり 礼拝に招かれたことを感謝しましょう

せいしよ 創世記1章31節

神はお造りになったすべてのものを御覧になった。見よ、それは極めて良かった。夕べがあり、朝があった。第六の日である。

おはなし 「極めて良かった！」

雨宮寧々先生

皆さんおはようございます。

今日は創世記1章の天地創造についてお話したいと思います。

天地創造は聖書の1番最初に書かれていて、皆さんもよく知っている内容だと思います。

私も小さい頃から何度もお話を聞いた箇所です。

神様は第一の日から第六の日にかけて天地万物を完成させられてます。そして第七の日は安息なさる。これは皆さんもう知っていると思います。

創世記1章では第一の日から第六の日までのことが書かれています。

今日はそれぞれの日にどのような事が起こったかを復習していきましょう。

まず第一の日では「天」と「地」を創造された後、「光あれ。」と仰られます。

神様は光を見て良しとされました。そして光と闇を分け、光を昼と呼び闇を夜と呼ばれました。

次に第二の日では『大空』を創造される。

「水の中に大空あれ。水と水を分けよ。」と仰られます。神様は大空を作り大空の下と上に水を分けさせられました。また神様は大空を天と呼ばれました。

第三の日では『陸』と『海』とを分け、陸に『青草』『種を持つ草』『実を結ぶ果樹』を生えさせる。

「天の下の水は一つのところに集まれ。乾いたところが現れよ。」と仰られます。乾いた所を地と呼び、水の集まった所を海と呼ばれました。神様はこれを見て良しとされました。また「地は草を芽生えさせよ。種を持つ草と、それぞれの種を持つ身をつける果樹を地に芽生えさせよ。」と仰られます。神様の仰った通りになり、それを見て良しとされました。

第四の日では『太陽』『月』『星』を創造、地を照らさせ、太陽に昼を、月に夜を治めさせられた。

「天の大空に光る物があって、昼と夜を分け、季節のしるし、日や年のしるしとなれ。天の大空に光る物があって、地を照らせ。」と仰られます。神様は二つの大きな光る物と星を造り、大きな方に昼を、小さな方に夜を治めさせられました。

第五の日では『海の生き物』『鳥』を創造される。

「生き物が水の中に群がれ。鳥は地の上、天の大空の面を飛べ。」と仰られます。そして創造されたそれらのものを祝福してこう言われました。

「産めよ、増えよ、海の水に満ちよ。鳥は地の上に増えよ。」

そして第六の日では『地の生き物』『人』を創造される。

まず「地は、それぞれの生き物を産み出せ。家畜、言うもの、地の獣をそれぞれに産み出せ。」と仰られます。

そして「我々にかたどり、我々に似せて、人を造ろう。そして海の魚、空の鳥、家畜、地の獣、地を言うものすべてを支配させよう。」神様は御自分にかたどって人を創造され、男と女に創造されました。人は最後に創造されたんですね。

神様は人間を祝福して言われます。「産めよ、増えよ、地に満ちて地を従わせよ。海の魚、空の鳥、地の上を言う生き物をすべて支配させよ。」有名な言葉ですね。神様は続けてこう言われます。「見よ、全地に生える、種を持つ草と種を持つ実をつける木を、すべてあなたたちに与えよう。それがあなたたちの食べ物となる。地の獣、空の鳥、地を言うものなど、すべて命あるものには青草を食べさせよう。」

神様はお造りになったすべてのものをご覧になりました。

31 節に「見よ、それは極めて良かった。」と書かれています。

神様はお造りになったもの一つ一つを見て良しとされました。その中には私たち人間も含まれています。それは何と嬉しいことでしょうか。

神様が造ってくださったこの美しい世界で生かされている喜びを感じながらこれからも歩いていきましょう。

* 小さな子どもさんには、話の内容など、年齢に合わせて噛み砕いてお話していただきますようお願い致します。

(けんきん) 再開後にまとめておささげください

62、海と空つくられたしゅ (こどもさんびかをお用ください)